

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		スポーツ振興事業費 [車いすバスケットボール普及・体験教室]									
予算科目	款 10	教育費	項 5	保健体育費	目 1	保健体育総務費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育		課		社会教育		係	課長名	高田 匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書 (ページ)	43		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市内小中学校の児童生徒				市内小中学校の児童・生徒数						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
障害者や障害者スポーツ(車いすバスケットボール)への理解を深める。				体験教室の授業を受けた児童・生徒のうち、障害者や障害者スポーツへの関心や理解が深まった児童・生徒数(参加数)							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
事前に調整した市内小中学校に、東京都車いすバスケットボール協会から講師を派遣してもらい、体験教室を開催した。				実施予定日が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言期間に含まれたため、事業実施していない。							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,568	6,561	6,382					
	成果指標	②の数値	人	158	0	0					
	目 標	②の目標値	人	299	158	158					
目標値設定の考え方											
前回の人数(数値)を超えることを目標とする。											
活動指標		③の数値	回	2	0	0					
3 経費	事業費(実績)		円	100,000	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	20,000	0	0					
		特定財源(国・都・他)	円	80,000	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	2,473,200	2,493,000	2,514,000					
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	2,573,200	2,493,000	2,514,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		H27 年度								
	(2) 環境の変化		東京2020パラリンピック競技大会の気運上昇に伴い、障害者スポーツ(パラスポーツ)への関心が高まり、各学校における独自の取組が増加している。令和2年度は、事業の実施に向けて準備を進めていたが、実施予定日が新型コロナウイルス感染症の緊急事態措置期間と重なり、実施できなかった。								

事業名称	スポーツ振興事業費 [車いすバスケットボール普及・体験教室]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 各学校では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、障害者スポーツをはじめとするオリンピック、パラリンピックに関する授業を行っている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 障害者スポーツの理解向上に対する取り組みは、既に学校毎に行われており、種目、実施日時等の調整も学校毎に行う方が合理的である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 社会教育課からの授業科目の提案をすることで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に対して関心を高めるきっかけとなるため、車いすバスケットボール普及・体験教室の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の発出により、実施できなかった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 車いすバスケットボールに限らず、様々な障害者スポーツについて周知し、学校ごとに取り組む方が合理的である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 この事業は、東京2020大会オリンピック・パラリンピックを市内小中学校の児童・生徒に普及啓発するため、都のスポーツ振興補助金を活用して実施する事業である。東京2020大会オリンピック・パラリンピック終了後は、当初の目的がなくなるため、実施については行わない可能性がある。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 東京2020大会オリンピック・パラリンピック終了後も事業を継続する場合、一般財源からの支出が増加することが見込まれるため、予算の範囲内で進める必要がある。			